

しゅうれんしんか そうじ

～収斂進化と相似～

「**収斂進化**」と「**相似**」いう進化の現象が生き物にはあります。

例えば、**魚類**と**哺乳類**、**哺乳類**と**昆虫**、**昆虫**と**鳥類**など、全く別の種類の生き物であるのに、棲んでいる所や食べているもの、行うことが一緒であったり似ていると、体の形がよく似てくる場合があります。

全身が似ている場合を「**収斂進化**」、一部が似ている場合を「**相似**」といいます。



サメ

イルカ

「**収斂進化**」のわかりやすい一例を見てください。サメは卵から生まれる魚類で鰓呼吸、

イルカは母親のおなかから生まれる哺乳類で肺呼吸です。しかしどちらも、水の中を早く

進むために、水の抵抗を減らし、水を強く掻くことが重要です。そのため、水が滑らかに

体を流れるように体の出っ張りを減らし、大きな鰭で水を掻けるように進化した結果、

非常によく似た形になりました。生き物にはすんでいる環境や食べているものに合うよ

うに体の形を作りかえる仕組みがあります。そのため、ちがう種類の生き物でも、姿

がよく似てくるのです。



そうじ
「相似」クイズ!!

Aグループの体の一部とBグループの体の一部は
その「行うこと（役割）」によって相似しています。その生き物と「行うこと（役割）」
をつなぎましょう!

Aグループ



トビウオの鱭



モグラの足



コウモリの手

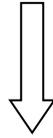


クワガタムシの角



サルの目

「行うこと（役割）」



つち ほ
・土を掘る

けんか
・喧嘩をする

そら と
・空を飛ぶ

もの みる
・物を見る

かっくう
・滑空する

Bグループ



モモンガの皮



コウノトリの翼



アオイガイの目



オケラの第一歩脚



シカの角

正解・・・トビウオ-滑空-モモンガ、モグラ-土を掘る-オケラ、コウモリ-空を飛ぶ-コウノトリ、クワガタ-喧嘩をする-シカ、サル-物を見る-アオイガイ

